

このたび災害復興制度研究所の英語表記を変更しました。その変更のねらいと表記の理由は次の通りです。

所長・岡田憲夫

【現行の表記】

Institute for the Research of Disaster Area Reconstruction

【変更後の表記】

Institute of Disaster Area Revitalization, Regrowth and Governance

(名称表記変更のねらいと表記の理由)

現行の disaster area reconstruction は「災害地域」の「復興」という意味を持つが、reconstruction は意味の中核に「物理的復興」のニュアンスがあり、国際化の時代にあって、そのような解釈をされかねない問題を解決することが望ましい。また「制度」という鍵概念が英語名に明示されていない点も課題であった。

そもそも本研究所が理念として掲げる「人間を中心とした復興」は、そのような解釈とはまったく反対で基本は人間の復興であり、そのためには(経済的だけではなく、人間の生活総体としての)活力が蘇ること(revitalization)に加えて、災害に遭遇したことを転換点として新たな成長(regrowth)を目指し、被災した人々とその地域・社会が持続的に遂げていくことを意味している。さらに研究所は、そのような営みを、住民が主役になりながら行政やNPO、大学などが参加・提携しながら協働で進めていくための復興の仕組みや社会システム(governance)を広義の「制度」の研究・実践することを目的としている。

以上の理由から、「災害復興制度」を disaster area revitalization, regrowth and governance と表記することが的確であると考え。なお研究所は社会実践・還元も含めた研究機関という意味で Institute とするのが良いと判断した。